


## ●新ルル点鼻薬

## 【使用上の注意】

 使用上の注意 してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は使用しないで下さい。  
本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
2. 長期連用しないで下さい。



## 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。  
(1) 医師の治療を受けている人  
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人  
(3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人  
(4) 次の診断を受けた人  
高血圧、心臓病、糖尿病、甲状腺機能障害、緑内障

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

| 関係部位 | 症 状       |
|------|-----------|
| 皮 膚  | 発疹・発赤、かゆみ |
| 鼻    | はれ、刺激感    |

## 【解 説】

1. 共通事項解説〔1〕参照  
塩酸リドカインにより起こることがあります。
2. ナファゾリン塩酸塩は長期間(2週間程度)や過度に使用(使用法を超える回数)すると、かえって二次的な充血、鼻づまりを起こす場合があります。また、本剤を長期連用することにより、薬剤の効き目が悪くなったり、薬効が切れたときのリバウンドが起こるおそれもあります。
1.
  - (1) 共通事項解説〔4〕参照
  - (2) 共通事項解説〔5〕参照
  - (3) 共通事項解説〔7〕参照
  - (4) 記載されている疾患の診断を受けた人は、本剤に配合されている成分により、病状が悪化するおそれがありますので、使用前に相談が必要です。
    - 高血圧、心臓病、甲状腺機能障害  
ナファゾリン塩酸塩の交感神経刺激作用(血管収縮)により、血圧を上昇させ、心拍数を増加させるため、高血圧、心臓病、甲状腺機能亢進症(動悸、発汗、手のふるえ、いらいら等)の症状を悪化させるおそれがあります。
    - 糖尿病  
ナファゾリン塩酸塩の交感神経刺激作用により、肝臓のグリコーゲンが分解され血糖値が上昇し、悪化するおそれがあります。
    - 緑内障  
抗ヒスタミン剤(クロルフェニラミンマレイン酸塩)の抗コリン作用により、房水水路が狭くなり眼圧が上昇し、緑内障を悪化させるおそれがあります。
2. 例示したような副作用症状が起こる可能性があります。これらの症状があらわれた場合には、症状の増悪や重篤な副作用への移行を未然に防ぐため、直ちに使用を中止し、使用している薬剤の成分等がわかる添付文書を持参の上、専門家に相談する必要があります。

→次のページに続く

## ●新ルル点鼻薬

### 【使用上の注意】

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

| 症状の名称              | 症 状   |
|--------------------|---|
| ショック<br>(アナフィラキシー) | 服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。 |

3. 3日間位使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

### 【使用法に関連する注意】

1. 用法・用量を厳守して下さい。
- 1'. 定められた使用法を厳守して下さい。
2. 過度に使用すると、かえって鼻づまりを起こすことがあります。
3. 点鼻用にのみ使用して下さい。

### 【保管及び取扱い上の注意】

1. 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して／キャップを閉めて保管して下さい。
2. 小児の手の届かない所に保管して下さい。
3. 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)
4. 他の人と共用しないで下さい。
5. 品質保持のため、一度開封した後はなるべく早くご使用下さい。
6. 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。

### 【解 説】

→2.の続き

下記のような重篤な症状があらわれたら、直ちに使用を中止し、医師の診療を受ける必要があります。

- ショック(アナフィラキシー)  
塩酸リドカインにより起こることがあります。  
重篤な症状の解説〔1〕参照

3. 3日間位使用しても症状の改善がみられない場合は、他の疾患や合併症も考えられるので、使用を中止して専門家に相談する必要があります。

1. 共通事項解説〔8〕参照

2. ナファゾリン塩酸塩は、過度に使用するとかえって二次的な充血、鼻閉を起こすことがあります。

3. 定められた投与経路、適用部位以外への使用は、思わぬ副作用や事故が発生するおそれがあります。

1. 共通事項解説〔11〕参照

2. 共通事項解説〔12〕参照

3. 共通事項解説〔13〕参照

4. 汚染による感染を防ぐための注意です。

5. 一度開封した後は、品質保持の点からなるべく早く使用する必要があります。

6. 共通事項解説〔17〕参照